

会 議 録

会議名称	令和 7 年度 第 1 回大空町図書館協議会	
開催日時	令和 8 年 1 月 1 6 日（金）	1 8 時 3 0 分から 2 0 時 1 0 分まで
開催場所	女満別図書館 3 階工房	
出席者の氏名	委員出席者氏名（敬称略） 今岡寛、横尾ちはる、雅楽代憲男、岩尾美智代、竹内篤 教育委員会 歌丸参事、阿部主査 図書館 道場館長、竹内係長、横野係長	
傍聴者の数	—	
会議資料の名称	○令和 7 年度年第 1 回図書館協議会会議 議案 ○資料 1 令和 6 年度大空町図書館実績報告 ○資料 2 令和 6 年度大空町図書館事業実績 ○資料 3 第 4 期大空町図書館 5 か年計画 令和 6 年度総合評価 ○資料 4 大空町女満別図書館の開館時間変更について ○電子図書について ○うちどくについて	
審議内容及び結果	<p>■今岡委員長挨拶</p> <p>■議案</p> <p>(1) 令和 6 年度大空町図書館実績報告について 図書館職員が資料 1 に沿って説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 日曜日と祝日が重なり休館となった日が多かったため、親子世代の利用が減り、逆に高齢者の利用が増えた。 ◆ 未就学児を連れた親子の利用が減ったが、逆に小学生を連れた親子の利用は増えた。 <p>(2) 令和 6 年度大空町図書館事業実績について 図書館職員が資料 2 に沿って説明。</p>	

<p>審議内容及び結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 巡回パネル展 (No.4) は新規事業。道内各地で巡回展を行っており、R 6は大空町で実施した。 ◆ ポスターコンクール (No.7) は、小学生の応募が減った。 ◆ うちどく (No.8 および No.22) は、今回から参加記念品を事前に周知し、参加したその場で記念品を本人に選ばせる方式にした結果、参加者が増えた。 ◆ いしかわこうじワークショップ (No.11) は、R 5に女満別で実施し、R 6は東藻琴で実施した。定員いっぱい参加があり、好評だった。 ◆ 「ひがしもことの自然」郷土資料展 (No.18) は新規事業。普段は奥のほうにあり注目度が低い資料に注目してもらうことができた。 ◆ 工作事業は、大空高校の探求の授業の一環として開催予定だったが、事前申し込みあった参加者が当日誰も来なかったため中止した。後日改めて大空高校で実施しているが、その際に図書館は関与していない。 ◆ 8月17日開催予定だった図書館講座は、講師が来る飛行機が台風で欠航したため中止とした。 <p>(3) 大空町図書館第4期5か年計画 令和6年度総合評価について</p> <p>図書館職員が資料3に沿って説明。</p>
<p>審議内容及び結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 3, 図書館電算システムの機能向上は、図書館システムの研修を行い機能について学ぶことができたため、『4』へ評価をあげた。 ◆ 4, 図書館情報の発信は、図書館だよりの発行やHP、Facebookの更新を定期的実施、また、HPのリニューアルの計画を立て進めることができたことから『4』へ評価をあげた。 ◆ 17, すべての世代に応じた図書館サービスの充実は、偏りのない資料収集に努めているが、20代の利用が極端に少ない現状があり『3』へ評価をさげた。 ◆ 19, 高齢者施設等への団体貸出の拡充及びボランティアとの協働による出向サービスの実施は、東藻琴地区では施設側からの団体配本の要望待ち状態。認知症カフェでは手に取ってみる方はいるが、貸出にはつながらなかった。女満別地区では、施設の担当者と話しながら配本回数を増やし、団体配本の展示の仕方を工夫するな

	<p>ど行い利用促進を図ったことから『4』へ評価をあげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 26, 学習の成果を発表する場の提供は、文学作品は定着しているが、ポスターは授業で取り扱っていただくことが難しく応募数は少なかったことから『3』へ評価をさげた。 ◆ 30, ホームページを活用した郷土資料の情報発信は、他館の事例を確認するなどしたことから『3』へ評価をあげた。 ◆ 44, 団体貸出制度の見直しは、定期的に配本したが、女満別中学校と大空高校の配本回数が減ったため、実績は目標値に達しなかったことから『3』へ評価をさげた。 ◆ 51, 学校など各種教育機関との連携による共同事業の実施は、『うちどく』を夏と冬に実施し、方法を変更したことで参加者が増えたことから。『4』へ評価をあげた。 <p>(4) 大空町女満別図書館の開館時間の変更について 町職員が資料4に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ JR利用者及び高校生の減少などの社会情勢や、夜間利用者の実態などから、火曜日から金曜日の女満別図書館の開館時間の終了を20:00から18:00までへと変更する。 ◆ 協議会の開催が遅くなり、議会承認後の説明となったことに謝罪。 <p>(5) 電子図書について 町職員が説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 電子図書は令和8年度に再度検討することになっていることから、情報提供し今後の検討の参考としていただき、改めて皆さんの意見を伺いたい。 ◆ 公共図書館で電子図書館を導入している図書館は全国で592自治体、472館。近隣では北見市、網走市、紋別市が導入済み。道立図書館も令和3年度に約3千万円で導入、道民であれば誰でも利用することが可能。 ◆ 網走市の図書館は令和2年度にコロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、約830万円で導入。年間100万円程度のランニングコスト。 ◆ 利用者1,090名のうち約1割が市外在住者。今後、
--	--

市外在住利用者が急増すれば、広域での運用について検討する必要があるとのこと。

- ◆ 十勝の池田町でも電子書籍を導入し、タブレットを利用して朝読を奨励。

(6) うちどくについて

図書館職員が説明。

- ◆ 子どもに人気のある「パンどろぼう」のバスボムを景品としたところ、前年度並みに達成することができた。
- ◆ 他の図書館等での取組みについて情報提供し、きっかけ作りとしてさらに充実できるよう、委員からの助言等をいただきたい。

■ 質疑・意見

(1) 令和6年度大空町図書館実績報告について

(質疑・意見なし)

(2) 令和6年度大空町図書館事業実績について

【委員A】 貸出の冊数が減り、件数が増えている理由は？

【図書館】 絵本の場合、一度にたくさん借りる人が多く、親子連れが減ると冊数が大幅に減る。

(3) 大空町図書館第4期5か年計画の評価について

(質疑・意見なし)

(4) 大空町女満別図書館の開館時間の変更について

【町職員】 説明を補足します。町内の公共施設のあり方について見直しをしており、図書館職員とも協議をし、開館時間を短縮することで光熱費の削減の期待ができること、早番・遅番がなくなり、図書館司書の適正な配置ができること、建物の設置・構造等の理由から女性職員の防犯上の問題があること、来館しても借りるまで至らないなど様々な理由から開館時間を短縮することとなった。

(質疑・意見なし)

(5) 電子図書について

【町職員】 説明を補足します。これまでのアンケートでも意見はあり、大空町図書館第4期5か年計画の中でも重点事項としてきた。一度手続きさえしてしまえば、すぐに借りることができる。網走市の図書館を利用する人もいるが、現時点で広域での運用

	<p>を考えるほどではない。また、図書館を市街地にという意見もあったが、新しく建つ研修会館に図書館は入らないので、移動図書館車による配架など、何か図書館機能を持たせられないか、皆さんの率直な意見を伺いたい。</p> <p>【委員B】 高齢者や子どもたちは駅前に来るよりは便利だと思う。電子図書は読まない。いちいち大きくするなど面倒である。</p> <p>【委員C】 教科書な紙なのか？</p> <p>【委員長】 教科書は紙だが、タブレットを使って動画を見たりなどハイブリッドである。数年後に学習指導要領が変わるが、紙もデジタルもあり判断は各自治体に任せるとのこと。北欧では既にデジタルから紙に戻しており、日本は遅れていると言える。</p> <p>【委員C】 電子書籍は借りたことがない。年を取って図書館に借りにいけなくなったら使うかと思うが、自分で動けるうちは紙で読みたい。読めなくなったらオーディブルしかないかと思う。見本を使ってみたが使いづらかった。</p> <p>【図書館】 今日はタブレットを持ってきたので触ってみてほしい。読み方がわからないものをその場で調べられたり、文字の拡大なども簡単に操作できる。</p> <p>【委員C】 不便さを克服するプロセスがなくなってしまう。インプットできてもアウトプットができない。SNS等のコメント欄を見ても誤字が多い。子供のうちは苦労して覚えてほしい。AIがあつたら何も考えなくていいので、考えない子になってしまう。</p> <p>【委員D】 紙がよいと思う。電子図書はコストがかかる、習慣間付くかも疑問である。現在紙が沢山あるのだから、それを利用すればよいと思う。</p> <p>【委員C】 マンガは電子図書で読んでいる。文章はオーディブルを利用しているが、時間がかかる。</p> <p>【図書館】 電子図書の登録はしたが、スマホだけなので疲れてしまう。オーディブルも人気があり試してみたが、咀嚼に時間がかかるから無理だと感じた。「ながら」では耳に入っていない。図書館としては子どもたちのとっかかりにはなるかと思う。た</p>
--	---

	<p>だ、きっかけになるからと言ってコスト問題から紙が減ってしまうのはどうかと思う。</p> <p>【図書館】 学校や子どもに対するものと、大人に対するものとを別に考えた方がよいと思う。子供への影響の結果が出てから与えてもよいのでは？電子図書は大人になってからでよいのでは？視力や頭に入ってくるのかなど、子どもに対する影響の方が心配である。大人には、本屋がなかったり、図書館に行けない人には便利なツールである。大人は紙と電子が選べたらよいと思う。大人も慣れれば使えるようになるし、大人こそタブレットの使用方法など勉強したらよいと思う。</p> <p>【図書館】 コストと成果を求める傾向があり、ターゲットを絞らないと無理だと思う。導入ありきで発進すると、利用件数は伸びないと思う。読書習慣に繋がるかも懐疑的である。高齢者施設を回っているが重くて大変である。電子図書はその点はいいが、果たして高齢者が使えるか疑問である。</p> <p>【町職員】 そらナビなどで情報発信しているが、普及が進まない。DX化で申請などをアプリでできるようになる。議会でも議案をタブレットで配付するようになる。</p> <p>(5) うちどくについて</p> <p>【委員B】 小中の差にヒントがあるのでは？中学生に聞いてみてはどうか。</p> <p>【委員C】 スマホを持ち、lineをやっていたら本は読まない。YouTubeで知らない世界を知るのはいいが、受け身で終わってしまう。辛辣な意見だが、ブログ・Xなどでつぶやいて人生終わってしまう。</p> <p>【委員D】 自分の子は寝る前に本を読ませる習慣になっている。図書館で借りてきていた。1番借りている人ランキングなどを楽しんでいた。</p> <p>【委員A】 興味のあるものは集中して見る。興味のあるものを与えてあげられるか、そのためには興味があるものを知ってあげないといけないと思う。</p> <p>【図書館】 自分は読むのが当たり前で、なぜ」読まないのかわからない。ただ、運動は体にいいけど、自分はしない。興味をひく必要がある。読書がなぜよい</p>
--	---

	<p>かということ伝えてあげたい。参考であるが、「ヨンデミー」という家庭教師アプリがあり、小学校と連携したら貸し出しが増えたという情報があった。</p> <p>【図書館】 図書館にくる子でも、絵本は読むが児童書まではいかない、「ゾロリ」はいけるけど超えられない、親が読書する子は超えてくる。親が読書する姿を子どもに見せるとよいのでは。読書系ユーチューバーというのが出てきて、中学生からリクエストがあった。</p> <p>【図書館】 メルヘン号で小学校へ行くが、「ほねほねザウルス」を超えられない、「ゾロリ」までいけない子もいる。家庭での読書についても、親に借りてきてはダメと言われたなど、子どもにアプローチしても親へのアプローチができず進まない現状がある。先生や図書委員が連れてきてくれたりするので、今後も学校の協力が必要である。</p> <p>【委員長】 読書環境は必要だと感じる。読む機会を大事にしたい。すき間時間で読めるよう、図書館が配架してくれている。低学年でも読書が楽しいと思えたらよいので、プリントなどあればどんどん持ってきてください。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--